日程表：第１日目　10月７日（土）

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

北海道大学 学術交流会館

- 第1会場
- 第2会場
- 第3会場
- ポスター会場

TKP札幌駅カンファレンスセンター

第4会場

WS受付

9:30-12:30
WS17
集団認知行動療法の工夫と実践
松永　美希・草岡　章大

WS受付

13:30-16:30
TG4
面接の構造化と基本的態度・応答技術
田中　恒彦・首藤　祐介

WS受付

17:00-20:00
TG5
認知行動療法を構成する基本技法
金井　嘉宏

第5会場

WS受付

13:30-16:30
WS13
Advanced cognitive behavioral therapy for pathological/disordered gambling
Robert Ladouceur

WS受付

17:00-20:00
WS23
コミュニティ強化と家族トレーニング（CRAFT）に基づく家族支援
境　泉洋・山本　彩・辻　由依

第6会場

第7会場

WS受付

9:30-12:30
WS24
ABAに基づいた就労移行支援事業所におけるスタッフトレーニング～福祉領域における行動分析を用いたスーパーヴィジョン～
陶　　貴行・恒吉麻実子

WS受付

13:30-16:30
WS21
援助要請を促進するカウンセリング
本田　真大

WS受付

17:00-20:00
WS25
トラウマ・センシティブ・ヨーガ
小林　　茂・高松　　円

日程表：第２日目　10月８日（日）

9:00 / 10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00 / 17:00 / 18:00 / 19:00 / 20:00

北海道大学 学術交流会館

第1会場

- 10:00- **開会式**
- 10:30-12:30 **大会企画シンポジウム1**
  産業場面での神経発達症への対応 ～産業医、心理師、弁護士の立場から
  金澤潤一郎・小林　幸太・池田　浩之・鷲見　悠
- 13:00-14:30 **特別講演1**
  認知行動療法とコンパッション－コンパッションは脅威刺激からの回避行動を減らす－
  金井　嘉宏
- 15:00-16:00 **教育講演2**
  デジタル-人間融合による精神の超高精細ケア：人工知能技術は心理療法を変革するか？
  伊藤　正哉
- 16:30-17:30 **教育講演3**
  鼎談企画「認知行動療法あれこれ」
  坂野　雄二／原井　宏明／杉若　弘子
- 18:30-20:30 **懇親会**
  ホテルマイステイズ札幌アスペン 2F

第2会場

- 12:00-13:00 **教育講演1**
  看護師が認知行動療法を実践するために必要な連携－交渉力で実現する環境調整の事例－
  川野　直久
- 16:00-17:30 **特別企画4**
  認知行動療法スーパーバイザー研修会
  鈴木　伸一

第3会場

- 12:00-12:45 **内山記念賞受賞講演**
  発達障害のある児童の漢字の読みに対する刺激ペアリング手続きを用いた遠隔地学習支援の効果
  野田　航
- 15:00-16:30 **特別企画3 ダイバーシティ推進委員会企画シンポジウム**
  日本認知・行動療法学会におけるジェンダーバランスを実現するために必要なこと
  佐藤　美幸・松永　美希・土井　理美・栗林　千聡・大植　崇・熊野　宏昭・戸ヶ崎泰子
- 17:30-18:00 **臨時社員総会**

ポスター会場

- ポスター貼付・掲示・閲覧
- 14:00-14:45 **責任在籍時間（P1-奇数）**
- 14:45-15:30 **責任在籍時間（P1-偶数）**
- 15:30-17:00 **ポスター閲覧**
- 17:00-18:00 撤去

TKP札幌駅カンファレンスセンター

第4会場

- 12:30-14:00 **特別企画2 公認心理師対応委員会**
  〈セラピーではない〉認知・行動療法の活かし方：「公認心理師」時代における新たなアイディアと展開
  武藤　崇・藤本　志乃・津田　菜摘・嶋田　洋徳
- 16:30-18:00 **自主企画シンポジウム7**
  臨床家がロボット、アバター、及びビッグデータと連携する方法
  横谷　謙次

第5会場

- 10:30-12:00 **自主企画シンポジウム1**
  新時代を生きる子どもの現状を捉えた支援のために－ネット問題の課題・予防・援助－
  瀧井　美緒
- 12:30-14:00 **自主企画シンポジウム3**
  ADHDに効果的な認知行動的技法及びその組み合わせの特定と最良の介入プログラムを考える
  濱谷　沙世
- 14:30-16:00 **自主企画シンポジウム5**
  不登校への認知・行動療法アプローチの現在2－スクールカウンセラーによる再登校支援の効果と課題－
  小野　昌彦

第6会場

- 10:30-12:00 **自主企画シンポジウム2**
  エクスポージャー実践のコツ－エキスパートが答える初学者・中堅者の疑問－
  長儀　拓
- 12:30-14:00 **自主企画シンポジウム4**
  慢性・身体疾患患者に対する認知行動療法の普及に向けて
  畑　琴音
- 14:30-16:00 **自主企画シンポジウム6**
  学校で使える認知・行動療法Part3 ～SOSの出し方に関する教育～
  江畑　慎吾
- 16:30-18:00 **自主企画シンポジウム8**
  現場で出会うトラウマを身近に考える3－トラウマへの気づきと実践の工夫と課題－
  成瀬　麻夕

第7会場

- 12:30-14:00 **ケーススタディ1**
  若年男性の慢性頭痛における「行動分析に基づく心理教育」の効果に関する一考察
  横地　歩
- 14:30-16:00 **ケーススタディ2**
  来院が困難な患者に対して精神科診療所の受付にできること－強迫症と注意欠如・多動症を合併した患者の事例から－
  松浦　文香
- 16:30-18:00 **ケーススタディ3**
  精神疾患休職中の学校職員に対し、認知再構成、行動活性化等により、もとの職場に完全復帰した2事例－本人の認知行動変容を中心
  大前　泰彦

日程表：第３日目　10月９日（月・祝）

9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

北海道大学 学術交流会館

第1会場

9:30-11:30
特別講演2
New Directions in Cognitive-Behavioral Therapy for Adult ADHD
Laura E. Knouse

11:45-12:45
会員集会

13:00-14:00
教育講演4
医療行動経済学の理論と実践
平井　啓

14:30-16:30
大会企画シンポジウム3
歯科心身症における治療連携と認知行動療法の可能性
本谷　亮・豊福　明・安彦　善裕・竹之下美穂・松岡　紘史・山崎　裕・大月　友

16:30-
閉会式

第2会場

9:30-11:30
大会企画シンポジウム2
認知行動療法を活用したオンラインメンタルヘルス相談支援の社会受容性シンポジウム
清水　栄司・冨家　直明・大橋　将一・横山　太範・小川晋一郎

14:30-15:30
教育講演5
ABAを用いたリハビリテーション
遠藤　晃祥

第3会場

9:30-11:00
特別企画5 編集委員会企画シンポジウム
生成AIの出現は，論文執筆を激変させるのか？
岡島　義・川島　一朔・土井　理美・重松　潤・国里　愛彦・佐藤　寛

15:30-16:30
教育講演6
限局性学習症のアセスメントと支援、合理的配慮
柳生　一自

ポスター会場

ポスター貼付・掲示・閲覧

10:45-11:30
責任在籍時間（P2-奇数）

11:30-13:00
ポスター閲覧

13:00-13:45
責任在籍時間（P2-偶数）

13:45-15:30
ポスター閲覧

15:30-16:30
撤去

TKP札幌駅カンファレンスセンター

第4会場

9:30-11:00
自主企画 シンポジウム9
行動療法は事例から学べ：5年目を迎えた京行研
原井　宏明

11:30-13:00
自主企画 シンポジウム12
日常生活のデータから臨床精度を高めよう ー生態学的アセスメントと継時測定ー
齋藤　順一

13:30-15:00
自主企画 シンポジウム15
子どものメンタルヘルス不調の早期発見・支援におけるストレスチェックの可能性
戸ヶ崎泰子

第5会場

9:30-11:00
自主企画 シンポジウム10
マイノリティへのマイクロアグレッションと認知行動療法
高階　光梨

11:30-13:00
自主企画 シンポジウム13
親子相互交流療法（PCIT）の適用可能性：対象と方法の広がり
佐藤　美幸

13:30-15:00
自主企画 シンポジウム16
障害福祉サービスにおける認知行動療法の実践と可能性
堀川　清司

第6会場

9:30-11:00
自主企画 シンポジウム11
演題取り下げ

11:30-13:00
自主企画 シンポジウム14
先進的なデータ収集・解析技術によって認知行動療法の実践はどう変わるか？
樫原　潤

第7会場

9:30-11:00
ケーススタディ4
精神病性の特徴を伴うう病に併存したパニック症・広場恐怖症の青年に対する短期エクスポージャー：クライエントのリソースを活用した治療効率化の試み
坂田　昌嗣

11:30-13:00
ケーススタディ5
挨拶の時に声が出ないと訴える男性に対して、社交不安症の認知行動療法のプロトコルを適用したケース
江藤　愛子

13:30-15:00
ケーススタディ6
不合理感が乏しく治療に難渋している強迫症の一例
松尾　陽